

令和8年度さくら・ビブルナム・あじさい・スモークツリー・シンフォリカルポス病害虫防除基準

発行：J A さ が え 西 村 山
さがえ西村山花き振興協会

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

さくら

防 除 時 期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法〔使用時期／使用回数〕			注 意 事 項
発 芽 前 （3月下旬）	カイガラムシ類		スプレーオイル	50倍	（200 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発芽前／－〕を散布する。	積雪等により本防除ができなかった園では、融雪後から開花期までにアブロードフロアブル1,000倍（10 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／6回以内〕を散布する。
開 花 始 期 ～ 満 開 期 （4月下旬～5月上旬）	幼 果 菌 核 病	1	トップジンM水和剤	1,500倍	（6.6 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発病初期／5回以内〕	のいずれかを 新梢伸長始期 に散布する。
		3	サンリット水和剤	2,000倍	（5 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔展葉始期～展葉期／3回以内〕	
生 育 期 （5月中旬）	ケ ム シ 類 （コスカシバ）	4A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	（5 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	1. ケムシ類の発生が多い場合は、スタークル顆粒水溶剤を使用する。 2. コスカシバの防除には、5月中旬（成虫発生初期）にスカシバコンLを10a当たり40～100本使用する。 3. コスカシバの食入したところからヤニ（虫ふん）が出ているので見つけしだい捕殺する。
生 育 期 （6月～8月）	ハ ダ ニ 類	10B	バロックフロアブル	2,000倍	（5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／1回〕を散布する。	
生 育 期 （6月中下旬）	カイガラムシ類幼虫	16	アブロードフロアブル	1,000倍	（10 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／6回以内〕	を混用散布する。
	ケ ム シ 類	28	フェニックスフロアブル	4,000倍	（2.5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／2回以内〕	
生 育 期 （7月）	ケ ム シ 類 （コスカシバ）	4A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	（5 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	
		3A	テルスター水和剤	1,000倍	（10 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／6回以内〕を散布する。	
生 育 期 （8月中下旬）	ケ ム シ 類	28	フェニックスフロアブル	4,000倍	（2.5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／2回以内〕	のいずれかを 散布する。
		3A	トレボン乳剤	4,000倍	（2.5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔幼虫発生期／6回以内〕	
周 年	て ん ぐ 巢 病	1	病枝切除後、切り口にトップジンMペースト原液〔病枝切除後／5回以内〕を塗布する。			切り取った病患部は適切に処理する。

◎野その被害が多くなっているので駆除を徹底する。
除草剤使用基準

	薬 剤 名	10 a 当り薬量／散布量	使 用 時 期	使 用 方 法	使用回数	適 用 雑 草	特 性
処 茎 理 剤 薬	バスタ液剤	300～500 <i>ml</i> ／100～150 <i>ℓ</i>	雑草生育期	雑草茎葉散布	3回以内	一年生雑草	・作物に飛散しないように注意する。 ・ラウンドアップマックスロード（10 a 当たり薬量 200～500 <i>ml</i> 、10 a 当たり散布量 50～100 <i>ℓ</i> ）〔雑草生育期／4回以内〕を使用しても良い。

ビブルナム

防 除 時 期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法〔使用時期／使用回数〕			注 意 事 項
生 育 期	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤	1,000倍	（10 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	
	ハ ダ ニ 類	10B	バロックフロアブル	2,000倍	（5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／1回〕を散布する。	ビニルを被覆し続けると、ハダニ類の発生を助長するため、原則収穫終了後速やかに外すこと。
	ケ ム シ 類	4A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	（5 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	
	アメリカシロヒトリ	1B	ダイアジノン水和剤34 [Ⓔ]	1,500倍	（6.6 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／4回以内〕を散布する。	
	フラーバラゾウムシ	1B	スミチオン乳剤	1,000倍	（10 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔－／6回以内〕を散布する。	前年発生のあった園地では、芽の動く前から、株元へもていねいに散布する。

あじさい

防 除 時 期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法〔使用時期／使用回数〕			注 意 事 項
生 育 期	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤	1,000倍	（10 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	

スモークツリー

防 除 時 期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法〔使用時期／使用回数〕			注 意 事 項
生 育 期	灰 色 か び 病	10.1	ゲッター水和剤	1,000倍	（10 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔感染期～発生初期／5回以内〕を散布する。	
	う どん こ 病	3 9	トリフミン水和剤	3,000倍	（3.3 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発病初期／5回以内〕	のいずれかを 散布する。
			フルピカフロアブル	2,000倍	（5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発病初期／5回以内〕	
	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤	1,000倍	（10 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	
	ケ ム シ 類	4A	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	（5 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	

シンフォリカルポス

防 除 時 期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法〔使用時期／使用回数〕			注 意 事 項
生 育 期	アザミウマ類	1B	オルトラン水和剤	1,000倍	（10 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／5回以内〕を散布する。	
	アブラムシ類	1B	スミチオン乳剤	1,000倍	（10 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔－／6回以内〕を散布する。	
		3A	アディオン乳剤	8,000倍	（1.25 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／6回以内〕を散布する。	
	カイガラムシ類幼虫	16	アブロードフロアブル	1,000倍	（10 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／6回以内〕を散布する。	
	アメリカシロヒトリ	1B	ダイアジノン水和剤34 [Ⓔ]	1,500倍	（6.6 <i>g</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／4回以内〕を散布する。	
	ハ ダ ニ 類	10B	バロックフロアブル	2,000倍	（5 <i>ml</i> ／10 <i>ℓ</i> ）〔発生初期／1回〕を散布する。	